

10月28日は  
岐阜県地震  
防災の日

# 迫る地震に 備えましょう



東日本大震災 津波被害(岩手県宮古市)  
【国土交通省東北地方整備局提供】



東日本大震災 液状化被害  
～せり上がるマンホール～(千葉県浦安市)  
【浦安市提供】

自助

自らの命は  
自ら守る!

～その命は、  
誰かを幸せにできる～

共助

みんなの  
地域は  
みんなでする!

岐阜県

# 岐阜県に被害をもたらす地震災害

## ないりくがたじしん 内陸型地震

(活断層が活動することによって起こる地震)

### 岐阜県活断層図

#### 凡例

##### 確実度I

活断層であることが確実なもの

##### 確実度II

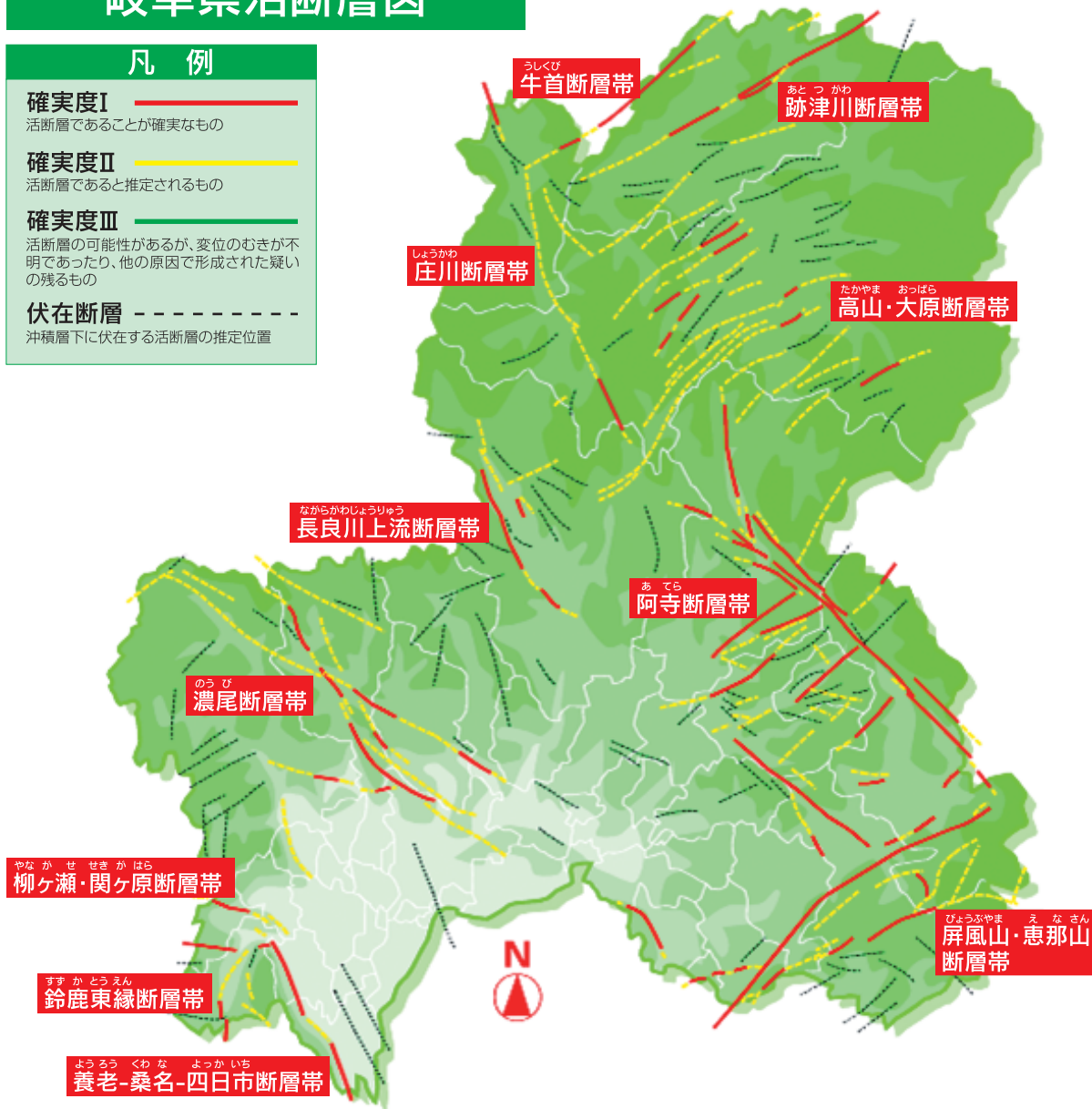
活断層であると推定されるもの

##### 確実度III

活断層の可能性があるが、変位の向きが不明であったり、他の原因で形成された疑いの残るもの

##### 伏在断層

沖積層下に伏在する活断層の推定位置



※活断層線については、『(新編)日本の活断層-分布図と資料』[(財)東京大学出版会発行]を転載した。  
※断層帯名については地震調査研究推進本部(文部科学省)による。

岐阜県にも、地震を起こす可能性のある活断層がたくさん存在しているわ。  
いつ、どこで地震がおきてもおかしくないのね。

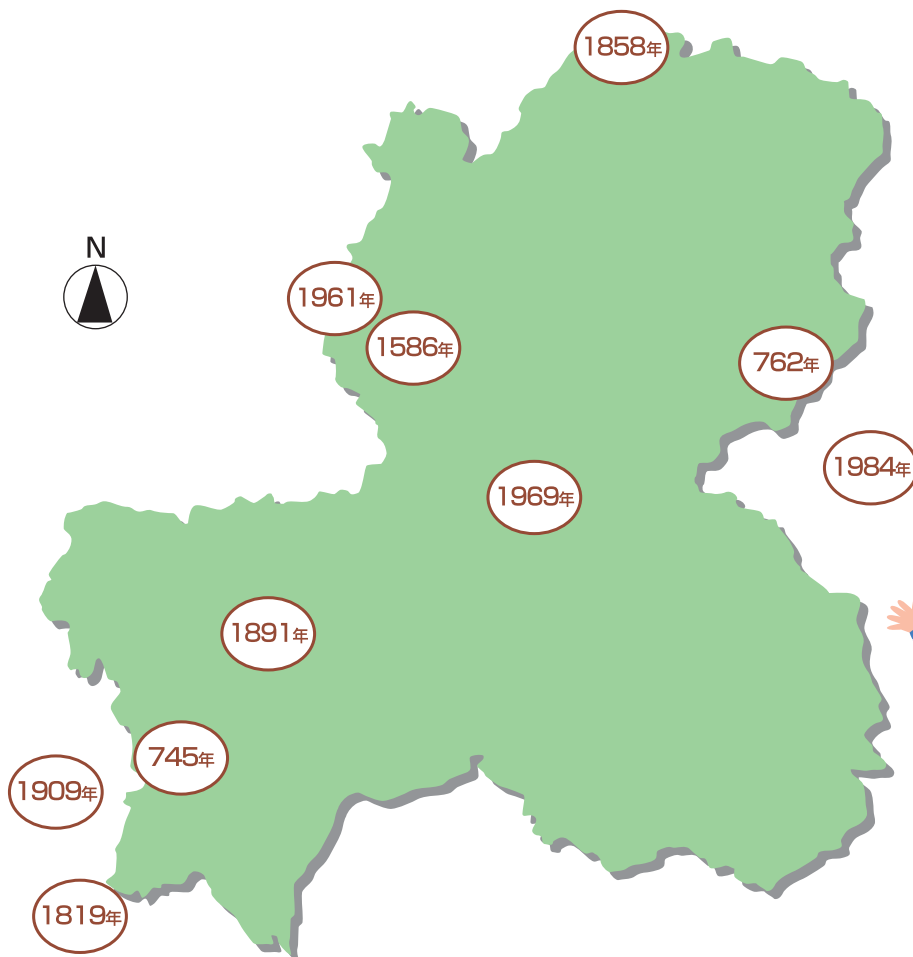


- 活断層とは、約200万年前から現在の間を繰り返し活動した証拠があり、今後も大地震を発生させる可能性があるという判断される断層のことです。
- この活断層の活動により発生するのが内陸型地震です。内陸型地震は、被害の範囲は比較的狭いものの、局地的な被害規模は大きなものになる可能性があります。

◆1:25,000岐阜県活断層図  
<http://www.pref.gifu.lg.jp/bosai-bohan/bosai/shizensaigai/shinsai/katsudanso.html>

# 岐阜県地震災害年表

## 岐阜県周辺で起きた 大きな歴史地震



岐阜県では、  
40年以上被害が  
生じた震度5  
以上の地震を、  
経験していない  
んだ。



地震名	発生年月日時	M (マグニチュード)
(なし)	745年6月5日 (天平17年)	7.9
(なし)	762年6月9日 (天平宝字6年)	7.0
てんしょうじしん 天正地震	1586年1月18日 (天正13年)	7.8
(なし)	1819年8月2日 (文政2年)	7.3
ひえつ(ひだ)じしん 飛越(飛驒)地震	1858年4月9日 (安政5年)	7.1

地震名	発生年月日時	M (マグニチュード)
のうびじしん 濃尾地震	1891年10月28日 (明治24年)6時38分	8.0
こうのう(あねがわ)じしん 江濃(姉川)地震	1909年8月14日 (明治42年)15時31分	6.8
きたみのじしん 北美濃地震	1961年8月19日 (昭和36年)14時33分	7.0
みのちゅうぶじしん 美濃中部地震	1969年9月9日 (昭和44年)14時15分	6.6
ながのけんせいぶじしん 長野県西部地震	1984年9月14日 (昭和59年)8時48分	6.8

## 10月28日は「岐阜県地震防災の日」

濃尾地震の災害経験を風化させないため、濃尾地震の発生した**10月28日**を「岐阜県地震防災の日」と定めています。

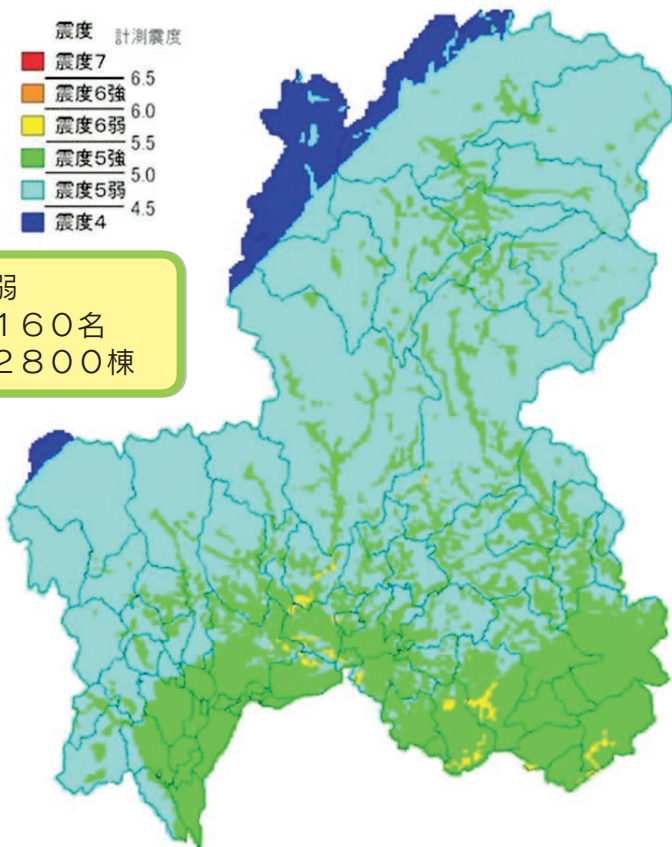
また、**毎月28日は「岐阜県防災点検の日」**です。

災害に対する取り組みについて、今一度点検してみましょう。

かいこうがたじしん  
**海溝型地震**  
 (東海・東南海・南海地震)

- 四国から東海にかけての地域では、ほぼ100年から150年に1度、大規模地震が繰り返し発生しています。
- 東海地震の震源域に関しては、前回の発生(1854年安政東海地震)以来、150年以上が経過しており、**いつ東海地震が起こってもおかしくない状況**にあります。

**複合型東海地震**  
 (東海地震と東南海地震同時発生)の被害想定



- 県内最大震度 6弱
- 県内死者 約160名
- 県内全壊棟数 約2800棟

**東海地震・東南海地震と岐阜県**



- ◆ プレートと呼ばれる岩盤の境界付近においては、プレートどうしが衝突したり、一方のプレートの下にもう一方のプレートが沈み込んだりしています。そのときにプレートにかかる力が原因となって発生するのが海溝型地震で、東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)も海溝型地震でした。
- ◆ 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)は、国内観測史上最大規模のマグニチュード9.0を記録するとともに、巨大津波を引き起こし、死者・行方不明者が2万人弱となる「超」広域災害となりました。
- ◆ 津波注意報が発表された際には海岸や河口から離れ、津波警報が発表された際には、自治体が指定した避難場所や高台に、速やかに避難しましょう。

発生年	地震名	規模M	南海	東南海	東海
1605	慶長地震	7.9	←→		←→
1707	宝永地震	8.6	←→		←→
1854	安政東海地震	8.4		←→	←→
1854	安政南海地震	8.4	←→		
1944	昭和東南海地震	7.9		←→	
1946	昭和南海地震	8.0	←→		
?	?	?			

**東海地震の発生確率**  
**88%**  
 (今後30年以内)

150年以上経過

**東海地震発生?**

# 東海地震に関連する情報

気象庁による観測体制のもとで異常値が発見されると、次のように情報が提供されます

## 東海地震「地震防災対策強化地域」 県内では中津川市が指定

東海地震予知情報 (カラーラベル 赤)	東海地震が発生するおそれがあると認められ、「警戒宣言」に伴って発表されます 「警戒宣言」が発せられると ○地震災害警戒本部が設置されます ○津波や崖崩れの危険地域からの住民避難や交通規制の実施、百貨店等の営業中止などの対策が実施されます  県民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、東海地震の発生に十分警戒して、「警戒宣言」および自治体等の防災計画に従って行動してください	
	観測された現象が東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表されます 東海地震に対処するため、次のような「準備行動」がとられます ○必要に応じ、児童・生徒の帰宅等の安全確保対策が行われます ○救助部隊、救急部隊、消防部隊、医療関係者等の派遣準備が行われます  県民の方は、テレビ・ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体などからの呼びかけや、自治体等の防災計画に従って行動してください	
東海地震注意情報 (カラーラベル 黄)	臨時	観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況が発表されます ●防災対応は特にありません ●国や自治体等では情報収集連絡体制がとられます  県民の方は、テレビ・ラジオ等の最新の情報に注意して、平常通りお過ごしください
		定期
東海地震に関連する調査情報 (カラーラベル 青)	定期	毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表 ●防災対応は特にありません  日頃から、東海地震への備えをしておきましょう

## 「警戒宣言発令時」の対応(強化地域内)

避難	○危険区域と想定される区域に在住の方、家屋の耐震性に不安がある方などは、指定された避難場所へ速やかに避難
ライフライン(飲料水・電気・ガス)	○平常どおり供給継続
電話	○使用可能であるが、通信規制がかかる可能性大
鉄道	○強化区域内への進入を禁止 ○最寄りの安全な駅まで運行し停車
バス	○最寄りの安全なバス停等まで運行し停車
一般道路・高速道路	○緊急輸送道路や避難路を確保するため、強化地域内への進入を規制、主要路線で通行規制
金融機関	○一部のATMを除き、営業中止
学校・保育園等	○閉校・閉園 児童・生徒は保護者に引き渡し、教員引率で帰宅(もしくは安全な場所に避難誘導)
病院	○地域の医療確保のため、耐震性を有する病院は診療継続
小売店等	○耐震性の確保される店舗にあつては、店舗の判断により営業を継続

# 身の回りの地震対策

## 減災をめざす3つの柱「自助」「共助」「公助」



「自らの命は自ら守る みんなの地域はみんなで守る」

自らの命を守る「自助」と、みんなの地域はみんなで守る「共助」、行政が担う「公助」の3本の柱が連携し、バランスよく支えあうことが、減災を進めるうえで最重要です。



### 自助

## 自らの命は自ら守る!

～その命は、誰かを幸せにできる～

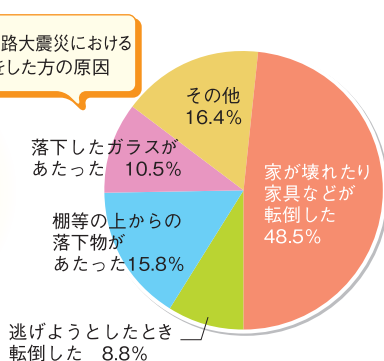
### 家具の固定をしましょう

家具の固定は、今すぐできる地震対策です

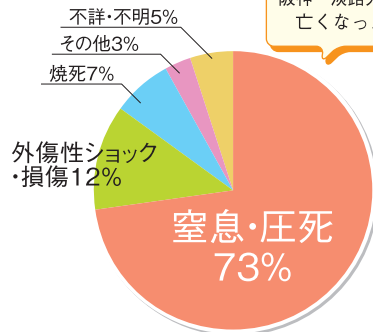
阪神・淡路大震災で亡くなった方の原因は、家屋等の倒壊による「窒息・圧死」の方が大部分(約3/4)でしたが、家屋の倒壊を免れた住宅でも多くの方が家具の転倒により被害を受けています。

- 寝ている間は無防備です
- まず、長時間過ごす寝室から取り組みましょう
- 家具の正しい置き方を確認しましょう
- ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう

阪神・淡路大震災における怪我をした方の原因

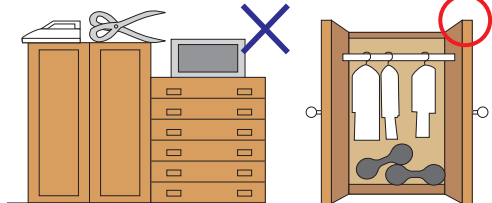


阪神・淡路大震災における亡くなった方の死因

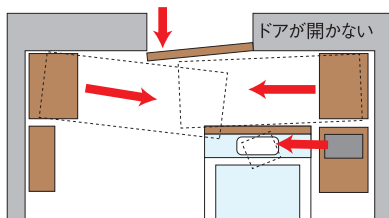


### 家具の正しい置き方を確認しましょう

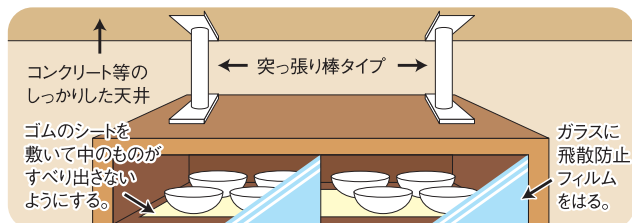
●下に重い物を置き、上に軽い物を収納しましょう。また、家具の上にはガラスやアイロンのような危険物やテレビなどの重いものは置かないようにしましょう。



●寝室や出入口付近に家具を置くのはやめましょう。



### 家具の固定を行いましょう



## 住宅の耐震化を進めましょう

建築物の耐震性を向上させることが地震防災対策の基本的な対策です



家が壊れない

火事が起きない

命が助かる

被災後のくらしに困らない



【新潟県中越沖地震 建物被害】

わが家の耐震診断をしてみましょう

市町村が窓口となって、住宅の「耐震診断」と「補強工事」の費用助成を実施しています

 お住まいの市町村に問い合わせを

～東日本大震災の教訓～

旧耐震基準（S56.5以前）により建設された建築物での被害が多数発生しましたが、耐震補強済み、新耐震基準建物における被害報告はごく少数でした。

## 家族で防災会議をしましょう

### 家族全員で取り組みましょう！

- 「いざというときの連絡方法・集合場所・子どもの引き取り方法」を家族で確認しておきましょう
- 「地域の危険箇所、避難所、避難経路」を事前に調べておきましょう  
また、ハザードマップなどで避難所や危険な場所を確認するだけでなく、実際に家族全員で歩いて確認してみましょう！
- 家族の役割分担（火気の点検、出入口の確保など）を決めておきましょう
- 防災に関する講演会などに家族で参加しましょう



## NTT災害用伝言ダイヤル(171)

震度6弱以上の地震等の発生により、安否確認のための通話が増加し、電話がつながりにくくなった場合に提供されます。災害時に備え、使用方法を体験してみましょう。

体験利用日

毎月1日及び15日 00:00～24:00

※正月三が日、防災週間(8月30日 9:00～9月5日 17:00)

なども利用可能



# 避難最優先で行動しましょう

## 災害時の心構え

### 「命を大切にし、避難最優先」で行動しましょう!

「自らの命は自ら守る」ことが基本的な防災対策として非常に重要です。避難第一であることをみなさんが共有することが、自らの命を守るだけでなく、自分を助けようとする他の人の命を守ることに繋がります。

～命より大切なモノはありません! 家の中に大切なモノを置いてあったとしても、引き返さずに避難しましょう～



### 「釜石の奇跡」～東日本大震災の教訓～

岩手県釜石市では、学校の管理下にあった約3千人の児童・生徒は全員避難して無事でした。釜石市はこれまで、実践的な避難訓練などの津波防災教育に熱心に取り組んでおり、防災教育の重要性を裏付ける結果となりました。

## 地震が発生した場合の対応

地震が発生したら、落下物から頭を保護したり、倒れそうな物から離れるなど、まず身の安全を確保することが大切です。

### ◆街頭にいるとき

カバン、手荷物、両手などで頭を保護しましょう。

### ◆地下街やデパートにいるとき

あわてて出口に向かわず、カバンなどで頭を保護して、一番近い壁や太い柱に身を寄せましょう。ワゴンや陳列棚など、動きやすいものの側に身を寄せるのは危険です。

### ◆電車やバスに乗っているとき

手すりにしっかりとつかまり、乗務員の指示に従いましょう。

### ◆エレベーターの中にいるとき

すべての階のボタンを押し、止まった階ですぐに降りましょう。

### ◆車に乗っているとき

徐々にスピードを下げ、ゆっくりと道路の左側に止めましょう。車を離れるときには、キーをつけたまま、窓は閉めてロックはしないこと。貴重品などを持ち出し、徒歩で避難しましょう。

### ◆建物の中で火災が発生したとき

煙の中を避難するときは、煙の薄い床付近に顔を近づけ、ぬれたハンカチなどで鼻と口をおおい、ほうようにして脱出しましょう。






# 自助実践200万人運動

## 自助：「自分の命は自分で守る」

自助実践200万人運動は、災害への備えが整った地域づくりを目的として、県、市町村、運動の応援団体などが連携・協力し、県民一丸となって、平成21年度からの10年間で延べ200万人の参加を目指す防災啓発キャンペーンで、県内各地への地震体験車の派遣や県広域防災センターでの防災啓発、建物の耐震化の促進など、様々な事業を実施しています。

 自助実践200万人運動のバナーをホームページに掲載していただける団体・個人を募集しています。

自助実践200万人運動ホームページ <http://www.jijyojissen.jp/index.html>



【岐阜県地震体験車】  
市町村、消防本部を通じて貸出を行っています。

<自助実践200万人運動バナー>



## 帰宅困難者対策

### ～「むやみに移動を開始しない」ことが基本です～

#### ～大規模災害時に困らないために～

大きな地震が発生した場合や、東海地震の「警戒宣言」が発令された場合には、公共交通機関が運行を停止し、外出中の多くの人々が帰宅できなくなる可能性があります。「むやみに移動を開始しない」ことが原則ですが、やむを得ず、帰宅される場合があると思いますので、その時のための心得を覚え、適切な行動ができるよう身につけておきましょう。

#### ◆徒歩帰宅支援ステーション

岐阜県では、県内のコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどと協定を締結しており、災害時には「徒歩帰宅支援ステーション」として、「水道水の提供」「トイレの使用」などの支援が受けることができますので、ご利用ください。



【目印はこのマーク】  
徒歩帰宅支援ステーションステッカー

#### 「むやみに移動を開始しない」

大規模災害時に、状況がわからないまま行動すると、集団転倒に巻き込まれたり、余震による建物の倒壊などの危険に遭遇するおそれがあります。

また、多くの人が一斉に移動すると交通を混乱させ、災害時に必要な救助・救急活動や消火活動などの応急活動を妨げることとなります。まずは「むやみに移動を開始しない」ことが大切です。

#### ～東日本大震災の教訓～

首都圏においては、公共交通機関が麻痺したことにより、約515万人の帰宅困難者(内閣府推計)が発生し、大きな混乱をもたらしました。

# 地域でできる地震対策

共助

## みんなの地域はみんなで守る!

### 自主防災組織活動への参加

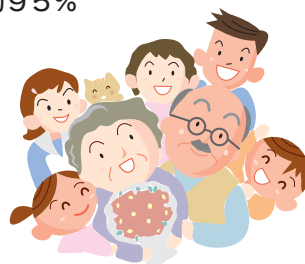
#### ～家族、地域の助け合いが大切な命を救います～

阪神・淡路大震災において、家屋等の下敷きになった人のうち、8割強の人が家族や地域住民の人たちによって救助されました。また、東日本大震災においては、地域ぐるみで平常時から意識啓発、防災訓練、災害伝承など減災に向けた取り組みを行っていた成果が生存者数という形で明確に現れました。

大規模地震発生後、迅速な救助活動を行うことができるのは地域住民のみなさんです。隣近所の人たちが助け合いの気持ちを持ち、一体となって自主防災活動を行うことがとても重要です。

■自主防災組織(地域住民により自主的に結成された防災組織) ※岐阜県の組織率は、約95%

- 平常時の活動
  - ◆地域の災害の啓発、防災知識の啓発
  - ◆地域の危険箇所、避難経路の確認
  - ◆災害時要援護者(お年寄り、障がい者など)の支援方法の確認
  - ◆防災用資機材の整備・点検
  - ◆防災訓練の実施
  - ◆避難所の運営方法の確認(運営マニュアルの作成・理解)
- 災害時の活動
  - ◆初期消火、出火防止
  - ◆救出・救助活動
  - ◆正しい情報の連絡
  - ◆避難の呼びかけや誘導
  - ◆避難所の運営・管理
  - ◆給食・給水



### ～今日からできる「共助」のための第一歩～

- となり近所であいさつをしましょう  
お互いが顔見知りになることが「共助」の第一歩です
- 地域活動に積極的に参加しましょう  
お祭りや地域の清掃などで、違う世代と交流することで、協力関係が生まれます
- 防災訓練などの自主防災組織の活動に積極的に参加しましょう  
防災資機材のありかを知ることだけでも、立派な自主防災活動への参加です



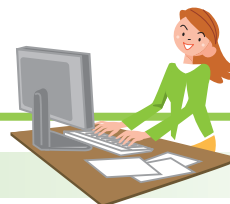
### 事業継続計画(BCP)の策定

#### ～BCPを策定しましょう～

近年、東日本大震災などの大規模な自然災害が発生し、企業における危機管理の対応が、企業そのものの評価につながる要因となってきています。企業は災害等で被害を受けても、主要業務が中断しないこと、中断しても可能な限り短い時間で再開することが望まれており、災害による業務中断の防止や早期復旧を図るためのBCPの必要性、有効性が広く認識されるようになっており、岐阜県でも、県内企業へのBCP普及に向けた取り組みを進めています。

#### ～BCPとは～

企業が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするため、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。



## 「防災訓練」への積極的な参加

消火訓練や避難訓練、応急手当の講習会などに普段から積極的に参加しましょう。

また、消火器、バール・ジャッキなどの防災資機材の点検・整備を定期的に行いましょう。



【岐阜市総合防災訓練】

## 「防災運動会」の実施

「防災運動会」は、地域の防災力の強化を目的に、学校や地域で実施している運動会や防災訓練に、防災の視点を取り入れた競技を加えて、若年層からお年寄りまで、幅広い世代層が楽しく防災活動を体験できるイベントです。防災訓練の一部、あるいは運動会の1メニューとして取り入れていただく方法もあります。みなさんの学校・地域でも実施してみましょう。

<競技例>

バケツリレー競走、担架搬送競走、消火器噴射競争、安否確認競争



【バケツリレー競走】



【担架搬送競走】



## 「消防団」への参加

消防団は、自主防災組織とともに火災や大規模な災害発生時に互いに助けあって地域を守ることを目的とした組織です。訓練を通じて、火災防御などの技術を身につけることができます。1人の住民として地元の事情も熟知しており、災害時の救助には大変重要な役割を果たします。

また、平常時には地域の防災リーダーとして自主防災組織とともに訓練に参加するなど、地域の防災力に貢献しています。1人でも多くの方が消防団を経験していただければ幸いです。



【岐阜県消防操法大会】

## 地域の危険なところを知りましょう

### 災害図上訓練(DIG)で地域の防災力をアップしましょう

「DIG(ディグ)」とは、私たちが住んでいる地域の避難所や、防災施設などを地図上で確認したり、災害が発生したという想定で、参加者全員でイメージトレーニングをする防災訓練です。

地域の人たちのための、地域の人たちによるDIGは、地域の防災力アップのための有効な手段として、全国的に注目されています。

岐阜県では、地域の防災力向上のため、自主防災組織を中心としたDIGの実施を進めています。



【災害図上訓練指導者養成研修】

#### ～東日本大震災の教訓～

発災時に自宅周辺がどのような状態に置かれるのかについて意識付けがなされていた場合は、特にその成果が明確に現れました。



## 災害時要援護者の支援

### ～災害時要援護者とは～

**情報の受信・理解・判断・行動などの各段階でハンディキャップがある方です**

もしものときに備えて、災害時などに手助けが必要な方から、支援して欲しいことを聞いておきましょう。また支援方法についても、地域で共有しておきましょう。

#### ◆高齢の方

- ・近所の高齢の方に声をかけ、安否確認を行いましょう。
- ・援助の求めがあった場合は、初期消火や緊急避難の協力をしましょう。
- ・移動する場合は、おんぶひもなどで背負い安全な場所に避難しましょう。

#### ◆肢体の不自由な方

- ・車いすは階段では2人以上で援助しましょう。
- ・上がるときは前向きに、下がるときは後ろ向きにして恐怖感を与えないように。

#### ◆目に障がいのある方

- ・杖を持った方の手は取らない。
- ・誘導するときは、ひじのあたりを軽く触れてゆっくり歩きましょう。

#### ◆耳に障がいのある方

- ・話しをするときは、正面に顔を向けてはっきりと話しましょう。

#### ◆外国人の方

- ・避難に必要な情報を身振り手振りなどで伝えましょう。

#### ◆乳幼児

- ・毛布などで体を保護し、おんぶひもで背負いましょう。



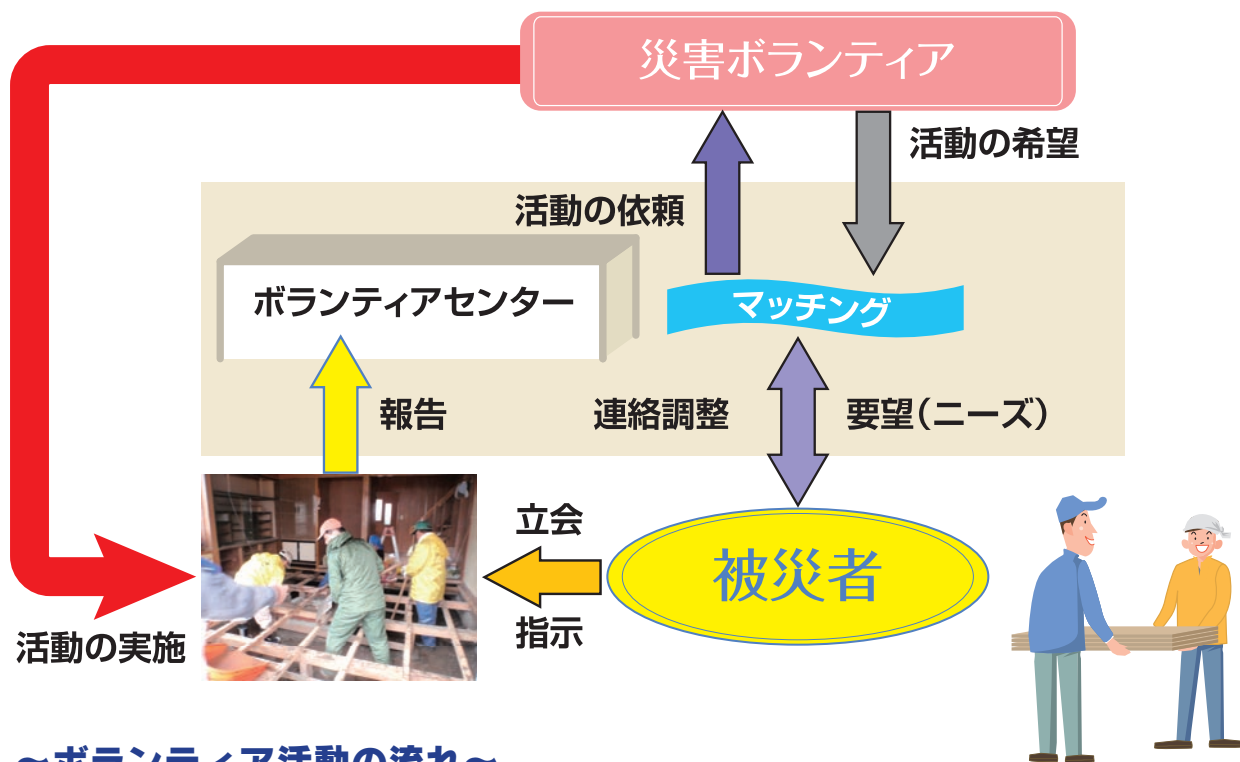
# 災害ボランティアへの参加

## ～ボランティア登録をしましょう～

東日本大震災は、甚大な被害を受けた地域が広く、街全体が壊滅状態になった地域もあり、被災者の生活をきめ細かく支援する災害ボランティアの活動についても広範囲にわたりました。

- ◆助け合いは、自分の住む地域が被災した場合だけではなく、他の地域が被災したときにも、義援金やボランティア活動などの支援を行いましょう。
- ◆被災地のボランティアセンターでは、県外ボランティアの受け入れ制限をしている場合がありますので、被災地のボランティアセンターに事前に問い合わせましょう。
- ◆県内の全市町村または市町村社会福祉協議会では、東日本大震災などの災害ボランティアに関する窓口を設置し、県民の皆様からの災害ボランティアの登録を受け付けています。

## ボランティアセンターの役割



## ～ボランティア活動の流れ～

- 被災地の状況確認とボランティアセンターへの登録
- ボランティアセンターからのヒアリング(活動希望、参加人数、活動期間など)
- ボランティアセンターでの被災者のニーズとのマッチングと、活動計画の立案
- 被災者の立会・指示のもとボランティア活動の実施
- 活動状況をボランティアセンターに報告

## ～東日本大震災の教訓～

被災地が遠隔地であったこと、燃料事情が悪かった背景を受け、県は被災地までの「災害ボランティアバス」を運行し、災害ボランティア活動を支援しました。

市町村、企業・団体・個人などでも自主的にボランティアバスを運行する動きにつながり、多くの方にボランティアに参加いただきました。

# 国・県・市町村などの支援

公助

## 国・県・市町村などが支援できること

### 防災教育の推進～わが家の防災博士コンクール～

岐阜県では、夏休みに親子で家庭における防災を実践し、優秀な取り組みをされた児童・生徒を「わが家の防災博士」として認定する「わが家の防災博士コンクール」を実施しています。

- テーマ：「家庭の中で、災害から身を守ることに取り組んでみよう」
- 応募資格：県内の小中学校、特別支援学校の児童・生徒
- 作品の例：「家具の固定」「窓ガラスの飛散防止」「防災マップの作成」
- <http://www.jijyojissen.jp/hakase.html#images/hakase23/1.jpg>



#### 「平成23年度優秀作品」



### 「超」広域災害に対する対策



「災害時における鹿児島県・岐阜県相互応援協定」を締結し、握手を交わす古田知事と伊藤鹿児島県知事

#### 「鹿児島県との災害時応援協定の締結」(H23.11.7)

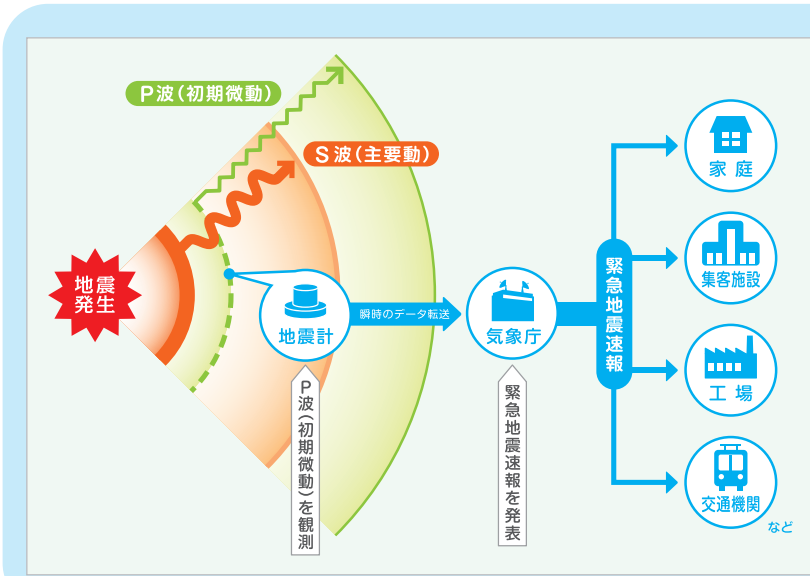
両県は、薩摩義士による木曾三川の治水工事を縁とし、昭和46年に姉妹県盟約を締結しています。東日本大震災の発生を踏まえ、同時に被災する可能性が低い両県がお互いを迅速に応援する応援協定を締結し、「超」広域災害に備えた防災体制を強化しました。

# 緊急地震速報

出典:気象庁ホームページより

緊急地震速報とは、地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模(マグニチュード)を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる地震動の予報及び警報です。

## 緊急地震速報のしくみ



- 震源近くで地震波(P波、初期微動)をキャッチし、震源や規模、予想される揺れの強さ(震度)等を自動計算
- 地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる前に素早くお知らせ
- 震度5弱以上を予想した場合に、緊急地震速報(警報)を発表
- 時間経過とともに精度がよくなる緊急地震速報(予報)を繰り返し発表

※震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合いません

※予想した震度には±1程度の誤差を伴います

※緊急地震速報は、予想震度の誤差などにより、発表が遅れたり、発表ができない場合があります

## 緊急地震速報利用の心得

● ぶだんから、家屋の耐震化や家具の固定など、地震に備えましょう!

まわりの人にも声をかけながら

地震の揺れを感じたら…  
(緊急地震速報がなくても)

あわてず、まず身の安全を!!

緊急地震速報を見聞きしたら…  
(地震の揺れを感じなくても)

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は、数秒から数十秒しかありません

### 家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない

### 自動車運転中は

- あわててスピードをおとさない
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす
- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす

### 人が大勢いる施設では

- 係員の指示にしたがう
- あわてて出口に走り出さない

### 屋外(街)では

- スロッキン塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意

### 鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる

### エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させすぐにおりる

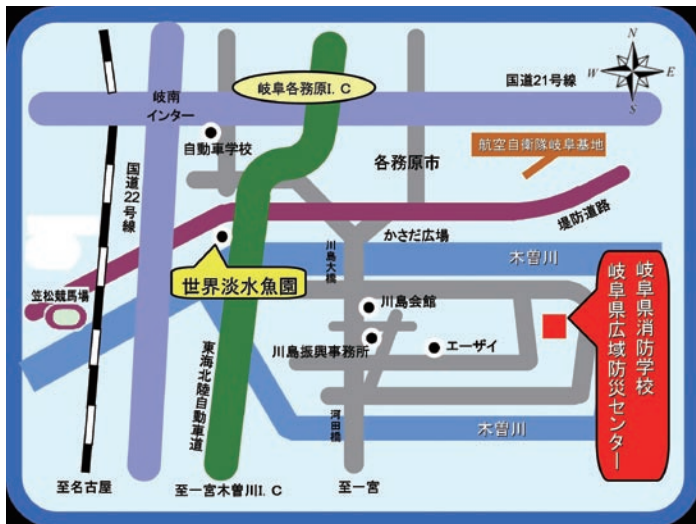
周囲の状況により具体的な行動は異なります。日頃からいざというときの行動を考えておきましょう

# 岐阜県広域防災センター

～実際に地震を体験してみよう～

## 岐阜県広域防災センター

自然災害や火災から県民の命と暮らしを守るため、防災知識の普及向上や防災用資機材の備蓄等を目的とした施設です。  
濃尾地震や兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)などの過去の地震や、将来起こるといわれる東海・東南海地震の揺れを体験できます。



### 【地震体験装置】

震度7までの揺れを体験できます。  
「いざというとき慌てないために、体験してみませんか」

- 所在地 各務原市川島小網町2151
- 入館料 **無料(訓練実習も無料です)**
- 開館日  
火曜日～金曜日、毎月第3日曜日  
※祝日・振替休日、年末年始(12/28～1/4)を除きます
- 開館時間 9:00～16:30

## お問い合わせ

### 岐阜県広域防災センター

●TEL 0586-89-4192 ●FAX 0586-89-4193

※10名以上の団体で来館される場合は、予約をお願いします。

## 防災や地震についての総合サイト

岐阜県総合防災ポータルでは、災害発生時における県内の被害状況、避難勧告等の発令状況などの災害情報を随時掲載しております。

また、平常時においては、災害へ備えるためのヒントとなる情報を数多く掲載しておりますので、ご活用ください。

岐阜県総合防災ポータル

<http://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/>

## 本パンフレットに関するお問い合わせ先

### 岐阜県防災課

代表

**058-272-1111**

内線

**2746,2747,2749**

直通

**058-272-1125**